

# 第 247 回競技委員会議事録

1. 日 時：2017年5月17日（水）18時00分～20時30分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 12、定足数 8、出席 12（内委任状 4）で成立。

寺本直志委員長、斉藤千鶴乃、山後秀幸、吉田正、横井大樹、  
桜井雅子、正村祐一、仲村篤志

委任状：ロバート・ゲラー競技会事業担当業務執行理事

佐々部君敏、林伸之、西田奈津子

オブザーバー：浅越ことみ、山田和彦、齋藤陽子、鈴木正人

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 マスターポイント規則について

- (1) マスターポイント規則の改正案について、山田和彦理事、齋藤陽子理事よりチーム戦のマスターポイントを替えずにペア戦のマスターポイントを増やすことが理事会の意向であることの説明があった。
- (2) 仲村委員より 15 年前のマスターポイントの改正からの説明があり、新規則はチーム戦とペア戦のレッドポイントとブラックポイントを同じ基準から算出するよう改良したもので、変更加える以上マスターポイントが増える競技会もあれば減る競技会もあることの説明があった。
- (3) マスターポイント総発行量発行量を基準に作成した改正案であったが理事会の意向を踏まえ、チーム戦のレッドポイントの総発行量もほぼ同量の発行量とするよう、ゲーム係数としてチーム戦のレッドポイントに 1.1 を乗じる案の提案があった。
- (4) 新案にて具体的な競技会のマスターポイント例を改めて作成し、メールにて確認後問題が無いようであれば、改正の改良案を理事会に提出することで合意した。
- (5) 4 月の理事会にマスターポイント規則の最新版を提出する必要があり事務局が作成の上、寺本委員長確認のうえ提出したことの報告があった。

会議 30 分後に、横井委員、浅越理事退出

1 号議案終了後に、山田理事、齋藤理事退出

第 2 号議案 各委員のワーキンググループの配置について

(1) 下記の通りワーキンググループを配置した

MP に関するワーキンググループ

仲村篤志（グループ長）、佐々部君敏、山後秀幸、寺本直志、正村祐一、貴戸祥郎

コンベンション・アラートに関するワーキンググループ

吉田正（グループ長）、斉藤千鶴乃、桜井雅子、寺本直志、林伸之、横井大樹

競技会運営規則・試合要項に関するワーキンググループ

山後秀幸（グループ長）、ロバート・ゲラー、桜井雅子、寺本直志、仲村篤志、吉田正

I MP に関するワーキンググループ

斉藤千鶴乃（グループ長）、山後秀幸、寺本直志、西田奈津子、横井大樹

### 第3号議案 クラブディレクター承認の報告

山下 民夫	33507	C-01125	東京都
葦津 和親	39277	C-01126	千葉県
三井田 善之	92296	C-01127	新潟県
瀬山 春彦	94179	C-01128	茨城県
小野 詩子	113274	C-01129	千葉県
木内 輝和	129532	C-01130	茨城県
芝田 由紀子	134637	C-01131	茨城県
原澤 沙依	195032	C-01132	神奈川県
市川 昭子	197533	C-01133	埼玉県
倉 明子	202123	C-01134	神奈川県
山田 菊子	202697	C-01135	神奈川県
谷村 和子	213134	C-01136	茨城県
金子 雄大	231581	C-01137	神奈川県
西村 知美	162887	C-01138	埼玉県
栗原 雅子	205504	C-01139	東京都

### 第4号議案 不戦勝・不戦敗の暫定スコアについて

- (1) スイス戦は競技会運営規則第24条にて「試合途中での不戦勝の点数は引き分け時のVPの1.2倍を仮に与えて計算する。」ことが定められている。
- (2) ダブルラウンドロビンについては、JTOSが1stラウンドロビン終了時に不戦勝のVPが算出されていることが報告され、ダブルラウンドロビンにおいても不戦勝の暫定スコアは試合終了時までスイスと同様とし、試合終了後に全ての得点を元に不戦勝の得点を算出することで合意した。
- (3) 瀬戸大橋リジョナルにおける試合形式が組み合わさった競技会については、主催団体が試合要項で事前に定めるべき事項であることを確認した。

### 第5号議案 その他議案

- (1) ハンドレコードに切り札毎のトリック数を表示に関して意見交換を行った。過去に検討したことがあること、現在でも一部のブリッジセンター等で採用されているが特に広まっていないこと、ナショナルの一部の競技会では採用したらどうか、シンプルで見やすい方が良いなどの意見があった。
- (2) 四谷BCよりIMPの参加制限にウィメンズを加えてほしいとの要望があった。単一センターからの要望のためブリッジセンター連絡会で各センターの意見も添えたうえで改めて要望を提出してもらいその上で検討することとした。
- (3) 吉田委員よりACBLでのSTOPカードの使用方法和コンベンションリストの改正案について状況の説明があり、意見交換を行った。
- (4) 2017年5月までに起きた3件の上告について意見交換を行った。

次回競技委員会は2017年8月2日(水)18時00分からの開催を予定する。

以 上